

# 31期

2014(平成26)年  
9月27日~10月2日

シンガポール共和国

## 団 長

伊達トシ子

## 副 団 長

仲田 洋子

## 事務局 長

園崎香代子

## 団 員

島袋富美子

長濱マチ子

幸地 幸子

前濱 朋子

饒平名知子

猪子 立子

福嶺 博子

仲座 恵子

## 参 与

奥村 啓子

胡宮なりえ

## 参与 補佐

仲 昌代

(14人)

タイ

マレーシア



シンガポール

## 訪問先と研修内容

### ・シンガポール基幹産業「港湾」訪問

街づくり、都市交通政策・観光と環境について、狭い国土、資源の少ない国の今日に至る成長戦力について学ぶ。

### ・シンガポール女性団体協議会訪問

男女共同参画及び教育について

現地の女性団体協議会(SCWO)事務局との情報交換での女性地位向上と女性支援保護について学ぶ。

### ・福祉について

福祉関連の施設等への訪問はできなかったがSCWOでの説明等によるとこの国の福祉は基本的には「自分の身は自分で守る」という理念に基づき「福祉国家にはならないとの考え」であることを学ぶ。



那覇空港にて先輩に見送られる

## その他の訪問先

・シンガポール国立博物館

・シンガポール国立図書館

・シティギャラリー・マリナー・バラージ・IT政策

・ランド・トランスポート・ギャラリー



シンガポール女性団体協議会を訪ね女性政策についての意見交換・交流を行なった



スーパーツリーとマーライオン



国の目指す将来像や施策等についてITを駆使した説明がされた



海水の淡水化施設を見学する

## 研修後の活動及び団員の親睦、交流



豊見城市女性団体協議会で報告(仲田洋子)



宮古島市長へ報告(猪子立子・島袋富美子)



宜野湾市女性団体協議会で報告(福嶺博子・幸地幸子)

その他の各市町村でも  
研修報告会を実施した。

那覇市(前濱朋子)  
うるま市(園崎香代子)  
浦添市(伊達トシ子)



活動報告書作成に向けて、何度も集まりをもち喧々譁々する中で同期の絆が深まった。場所の提供、パソコンの操作、夜食の差し入れとそれぞれができる事を発揮して取り組んだ。

## 今後、私達の期で 取り組みたいこと

- 定期的に集まりを持ち、31期団員の各地域での活動などについて情報交換し、それぞれの市町村等での「翼の会」の結成に向けて活動を進めていく。



シンガポール県人会との交流会



31期の楽しかった思い出



# 32期

2015(平成27)年  
10月5日~10日

マレーシア  
シンガポール共和国

団 長  
下地 貴子  
副 団 長  
九反田悦子  
事務局長  
安富祖寿子  
団 員  
大岩 晶子  
金城 由美  
金城 良子  
平良レイ子  
當山 恭美  
中村 好恵  
南 苗子  
村田美智子  
與儀美奈子  
與那嶺昌美  
参 与  
知念 清子  
崎原 末子  
(15人)

## 訪問先と研修内容

あらゆる分野での先進国入りを目指したマレーシアの国家戦略がどのように行われ、そして女性がどのような社会的地位で活躍しているのかを「女性の社会進出」「観光」「教育・医療・福祉」の視点から学ぶことが出来た。そして多民族国家の文化や歴史に触れることができた。



マレーシア県人会の宮城洋子さんには滞在の行程や同行など大変お世話になった

## 教育・医療・福祉

### マレーシア医療観光協会(MHTC)

#### プリンスコートメディカルセンター訪問

医療保険制度が存在しないマレーシアでは国からの補助金で賄われ医療費が安価。また、高度先進医療の提供も行っている。また、医療ツーリズムにも力を入れており、外国からの患者受け入れの体制も整っている。

### マラヤ大学訪問

マレーシアの教育制度を学び、大学では世界各国からの留学生を受け入れる体制とアセアン圏でのビジネスチャンスにつながる事が人気の理由。



宮城洋子さんと夫の  
ジョン教授からの説明



“One Stop Care”

手頃な価格で、質の高い医療と  
心のこもったサービスを提供



マレーシア県人会との交流

## 女性の社会進出

### マレーシア女性団体連絡協議会(NCWO)訪問

女性の人権遵守・男女平等・女性参画について現状をさぐ。女性の社会進出は進んでいるが、実力ある女性達が一旦離職すると社会復帰できない現実があるということを知る。子育て支援(育児休暇制度)・老人介護問題・DV(家庭内暴力)・貧困問題などについての解決策や男女共同参画社会への実現に向けての取り組みを学んだ。



NCWO研修風景

## 観光(MICE・医療ツーリズム)

### マレーシアコンベンション&エキシビジョンビューロー(MyCEB)

MICE誘致を開始した2010年以降、官民あがりの国際プロモーションを推進し、アジアTOP5を目指すマレーシア。女性の重要なポジションでの活躍も目覚ましい。会議施設・宿泊施設・交通機関等の整備も継続して行われおり、MICE誘致に力を入れようとしている沖縄も見習う点がたくさんある。



モスクではヒジャブをかぶり礼拝堂を見学

### ハラル産業開発公社(HDC)

ハラル制度や製品の概念について学び、原材料・生産・加工・流通・販売・品質といった「履歴情報」を参照できる「トレーサビリティ」の魅力に触れる。日本人に人気がある「マイセカンドホーム」では日本の年金で生活が可能な安心・安全なVISA発給プログラムについて学ぶ。



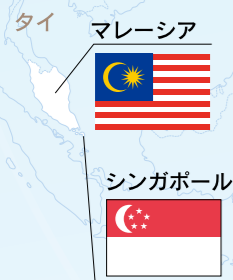
クアラルンプールのシンボルツインタワー



シンガポールラッフルズホテル前で



ハラル料理を堪能





# 33期

2016(平成28)年  
9月5日~10日

ベトナム社会主義共和国

**団 長**

大兼和佳子

**副 団 長**

平良 綾子

**事務局長**

樋渡かおり

**会 計**

宮良かんな

**団 員**

赤嶺サオリ

安里 秀子

糸数 未希

上原 周子

金城 壽子

下地恵美子

砂川美恵子

玉城 若子

仲村美津枝

宮城 枇呂

山元 明美

**参 与**

崎原 末子

仲里マサ子

**サポーター**

仲西 郁代

伊仲美恵子

(19人)



ベトナム

33期よりウェルカムボード寄贈しました!!  
ベトナムでそろえたアオザイで式典&祝賀会に出席。  
30周年という節目に飛び立てたことに感謝した時間だった!!



33期生のシンボルカラーは、ブルー。ベトナムでは平和を象徴する色。ブルーのプレザースタイルで一致団結。団員は、福祉・教育・経営者・芸術家・医療・ボランティア関係と個性豊か。語学力が高い者や海外での活動経験者が多いのも特徴。訪問国ベトナムの民族衣装にちなみ「アオザイの会」とネーミング!

**6日間の日程**

■ 1日目 9/5(金)

- 9:30 壮行式
- 11:45 那覇発
- 16:45 ホーチミン着
- 19:00 沖縄県人会との交流会

■ 2日目 9/6(火)

- 8:00 戦争証跡博物館
- 10:30 Ky Quang II Temple
- 14:00 ストリートチルドレン友の会 (FFSC)

■ 3日目 9/7(水)

- 9:45 ホーチミン発
- 11:50 ハノイ着
- 14:00 女性教育推進  
エンパワーメントセンター (CEPEW)
- 17:30 女性起業家講話

■ 4日目 9/8(木)

- 9:00 ベトナム女性連合
- 11:15 ベトナム女性博物館  
市内視察及び
- 19:00 『ベトナムの風に吹かれて』ロケ地めぐり  
沖縄県人会との交流会

■ 5日目 9/9(金)

- 8:00 ハロン湾・ティエンクン洞窟視察

■ 6日目 9/10(土)

- 11:35 ハノイ発
- 19:45 那覇着 離団式

**That's Vietnam !**



世界自然遺産 ハロン湾



ベトナムの風景



ベトナム名物  
オートバイ群



戦争証跡博物館

フィン・ゴック・ヴァン館長による講話。「家族を亡くし、拷問を受け、戦後の再建まで…ベトナム戦争で女性は一番被害を受けた。戦争はどれだけ無意味なものなのか。平和がどれだけ素晴らしいものなのか 平和は国境を越えて広がる」



Ky Quang II Temple

身体障害者や、孤児たちを保護し、リハビリや教育の機会を与え、社会復帰できる能力をつけさせている寺院。現在は170人の子が暮らす。支援物資とお布施、ボランティアで運営されている。33期生で心ばかりの寄付を行う。



ストリートチルドレン友の会

元新聞記者のソイ氏が、経済的な理由により公的教育から遠ざかっている子どもたちを対象に、無料授業が受けられるよう1984年に設立。職業訓練、里親制度もあり、約1,300人の子どもたちをケア。輝く瞳の子どもたちに癒される!



女性教育推進・エンパワーメントセンター

1997年、ベトナム女性連合の前副会長のハン氏が退職後設立したNGO。女性の地位向上、エンパワーメントなどを目的に、職業訓練、小口融資等市井の女性たちへ多岐に渡る支援活動を行っている。パワフルなハン氏に多くのことを学ぶ。



女性起業家講話(ドン・ティエー・トゥー・ハー氏)

ハノイ国立外国語大学日本語学科、琉球大学教育学部国語科研究生卒。日の出日本語学校と旅行会社経営。日系企業で働くベトナム人への研修も行っている。働くベトナム女性の法律や福利厚生などを学ぶ。



ベトナム女性連合

1930年創立。1,500万人の会員を有するベトナム最大の女性団体(NGO)ジェンダーイコリティの研修や、職業訓練、教育雇用など、多くの支援を行っている。女性と子どもに関する国の諮問機関でもある。



ベトナム女性博物館

家庭における女性、歴史上の女性、女性の衣服・装飾品の3大テーマから構成。儀式、風習、出産、生活、伝統、戦時中の女性の様子等を、品物・写真で展示。多様な文化・伝統に感動!



映画「ベトナムの風に吹かれて」ロケ地巡り

30周年記念国際交流事業の一環として上映された映画。写真はレーニン公園。ホアンキエム湖や、浦島太郎の伝説の亀のいる玉山祠、鎮國古寺、青年劇場やカフェ跡地等巡る。



県人会との交流会

ホーチミン県人会、ハノイ県人会との交流会を図る。「あぐがばな・どうすがばな(友達の花・親友の花の意)」の曲に合わせてみんなで踊り、親睦を深める。

**33期生 地域での活動状況**

- ・民生委員、児童相談員
- ・DV支援
- ・児童園の卒業生の支援
- ・社会的養護の子どもたちへの進学支援活動
- ・子ども食堂、子ども図書館
- ・地域有償ボランティアによる子ども預かり事業
- ・学習指導ボランティア、学校支援コーディネーター
- ・独居者の調理ボランティア
- ・ひとり親世帯の親支援(事業所)
- ・保護司
- ・家庭児童相談員
- ・家庭裁判所の少年審判の支援